

ロボット導入実証事業

平成29年度予算案額 **11.9億円（23.0億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 「ロボット新戦略」（平成27年2月10日 日本経済再生本部決定）では、我が国を「**世界のロボット利活用社会**」にするという目標を掲げています。
- この実現に向けて本事業では、ものづくり分野とサービス分野のロボット未活用領域におけるロボット導入の実証に向けたシステムインテグレーション※（SI）を支援し、**我が国におけるロボット利用のフロンティアを開拓**します。（※多種多様なロボットや周辺装置を組み合わせ、最適な自動化システムを構築すること。）
- また、「日本再興戦略2016」（平成28年6月2日 閣議決定）にある、**2020年までに小型汎用ロボット導入コストを2割削減し、ロボットシステムの導入を支援する人材を3万人に倍増**の達成に寄与する取組を支援します。
- さらに、「改革2020プロジェクト」（平成27年6月30日 閣議決定）で掲げる、**公共空間で活用可能なロボットの社会実装と、その姿の世界発信を促進**します。

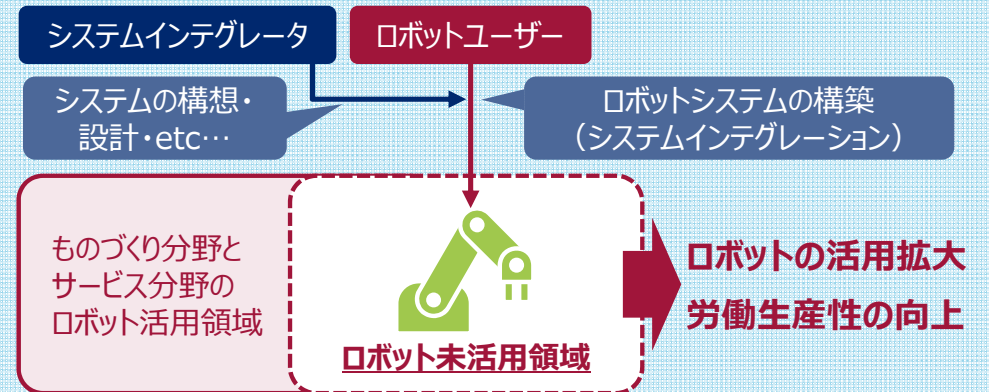
成果目標

- 平成28年度から平成32年度までの5年間の事業であり、2020年に労働生産性の伸び率を年間2%以上に向上させることを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



① 未活用領域における導入実証・FS事業

ロボット未活用領域においてロボットの活用に挑戦する事業者（ロボットユーザー）に対し、その実証やFS（実現可能性調査）に要する費用（SI費、機械装置費等）の一部を補助します。

② コスト削減に向けたSIプロセス実証事業

ロボットシステムの構想・設計・導入を担うシステムインテグレータと密に連携し、ロボット導入コストの削減に向けたシステムインテグレーション等を実施する事業者（ロボットユーザー）に対し、その実証※に要する費用（SI費、機械装置費等）の一部を補助します。

※ロボット革命イニシアティブ協議会が策定するSIプロセス標準等を適用予定。

③ 公共空間におけるロボット社会実装プロジェクト

市街地・空港等をはじめとする公共空間においてサービスを提供するロボットの社会実装に向けた実証※に要する費用（SI費、機械装置費等）の一部を、その実施者に対して補助します。

※ロボット革命イニシアティブ協議会が策定した安全性確保に関するガイドラインを適用予定。